

バーコードリーダーを利用した 出席確認システムの開発(2)

—— 収集データを利用したアプリケーションの開発 ——

佐賀孝博

●要約

筆者は、2004年に学生証に記されているバーコードを利用して、バーコードリーダーを用いた出席確認システムを構築した。

その後、筆者はシステムで記録されたデータを利用する2つのJava Swingアプリケーションを開発した。

1つはある科目の出席状況を一覧確認するもので、各人の合計出席回数の確認はもちろんのこと、特定の条件のレコード検索やファイル保存、印刷機能をもっている。ツールを使用することで、ある科目についての各人の出席状況をよく把握することができた。また、情報をファイル保存・印刷することで他者との情報共有も容易になると考える。

もう1つのツールは講義中に学生へ行う質問の解答者を指名するものである。多少ゲーム性を持たせて、スロットマシンのように、出席している学生の一覧をもとに、ハイライト表示で順次、学生名を移動していき、あるところで指名者を決定するものである。このツールをスクリーン上に映し出して使用することで、学生の視線をスクリーンに移すことができるので、適度に使用することで学生の講義への参加意識を持続させることができたと考える。

●キーワード

出席確認

バーコードリーダー

Java アプリケーション